

三浦 このルタバガは直播ですか、移植はどうでしょう。
兼子 直播を行ない、欠株には移植したがやはり原則として直播が良いようでした。

三浦 昭和三十五年の北海道一を尋ねた報告があったわけですが、いづれも特色があり、工夫、研究、努力された結果で決して偶然に出来たものでないことがよくわかりました。

読者の皆さんにも、どの部分かとり入れていただけることもあろうと存じます。ではこのへんで閉会したいと思います。どうも有難うございました。
(完)

次号予告

自給粗飼料と配合飼料との上手な組合せは、家畜飼育上、極めて重要な課題であり、ひいては、酪農経営合理化に大きな役割を果しておりますが、八月号は趣向を変えて、配合飼料を色々の角度から検討する記事をとあげてみました。次号、配合飼料特集号を御期待下さい。

主要記事

- 。乳牛の栄養と配合飼料
- 。どの程度の配合飼料を使ったら有利か
- 。寒地養鶏ではどんな飼料給与が重要か
- 。養豚飼料の上手な使い方
- 。カーフミールと犢用配合について
- 。乳牛の自給飼料の種類と配合飼料の選び方、給与法

家畜ビートの品種比較

・極寒冷地の成績から

北海道の北辺、天塩町で同地農業普及所のご好意で、試作中の家畜ビートの試作成績がまとまりましたので御紹介します。

天塩は北緯四五度の線上にあり、無霜期間一五〇日以内で畜産と穀養生産が農業の主体をなしており、土壌は植壊土地帯です。長い冬期間の生鮮飼料として、家畜ビートの必要性が高まり、普及所で六種の家畜ビートの品種が試作され、品種と施肥量の関係が調査されました。その耕種概要は次の通りです。

- 1 播種期 五月八日
- 2 反当播種量 二・二キ
- 3 反当施肥量

標準 区Ⅱ堆肥一、二〇〇キ、硫酸一五キ、過石二五キ、硫加四キ、智利硝石一五キ
A区及びB区Ⅱ堆肥二、四〇〇キ、硫酸二〇〇キ、過石三五キ、硫加八キ、智利硝石二〇キ

- 4 栽植密度
- 標準区反当 六、八三三株 (六〇×二四キ)
- A区反当 八、四一六株 (六〇×一九キ)
- B区反当 七、三〇〇株 (六〇×二二キ)

5 調査結果左表の通り
この結果から次のことが判断されます。

1 株間は広い方が多収(畦幅六〇キで株間二四キ) 肥料を多くしても株間が狭くなると施肥効果が現われていない。

2 パーレス(橙色系)は施肥量少なくて多収、シュガーマンゴールド(青色系)は施肥量多い方が多収、

ハーフエロー(黄色系)は施肥量増加しても株間が狭くなると収量変らず、ハイレッドはいずれの場合にも他系に比し収量少なし。

3 M G M、B G Bはいずれも葉の収量多く、根部収量は中等、これは晩生のためと考えられる。

4 耐病、貯蔵を考慮して肥沃地ではシュガーマンゴールド、施肥不十分な場合はパーレスを利用する。病害多発地ではM G Mを利用し、なるべく早まき、おそどりとする。

エローはどこでもある程度の収量をあげる作りやすい品種と言える

区別及び品種	スタン ドの数	3坪 総収量 kg	3坪 葉量 kg	10a当たり(kg)				順 位		
				根重 順位	葉重 順位	計				
改善区 A	B G B	8,800	53.2	10.5	5,320	5	1,050	2	6,370	4
	パーレスストリーネ	7,300	63.6	8.0	6,360	2	800	3	7,160	2
	M G M	8,400	55.4	10.8	5,540	4	1,080	1	6,620	3
	ハーフシュガーエロー	8,600	55.7	7.1	5,570	3	710	5	6,280	5
	ハーフシュガーレッド	8,700	49.8	6.6	4,980	6	660	6	5,640	6
	シュガーマンゴールド	8,700	68.4	7.4	6,840	1	740	4	7,580	1
改善区 B	B G B	7,300	48.6	8.1	4,860	5	810	2	5,670	5
	パーレスストリーネ	7,200	61.3	6.2	6,130	1	620	5	6,750	2
	M G M	7,300	58.4	13.3	5,840	3	1,330	1	7,170	1
	ハーフシュガーエロー	7,000	52.3	7.4	5,230	4	740	3	5,970	4
	ハーフシュガーレッド	7,600	43.3	7.4	4,330	6	740	4	5,070	6
	シュガーマンゴールド	7,400	60.6	5.6	6,060	2	560	6	6,620	3
標準区	B G B	7,400	52.6	11.5	5,260	4	1,150	1	6,410	2
	パーレスストリーネ	6,700	75.3	6.7	7,530	1	670	3	8,200	1
	M G M	6,500	48.2	9.0	4,820	5	900	2	5,720	5
	ハーフシュガーエロー	6,900	54.8	5.6	5,480	2	560	4	6,040	3
	ハーフシュガーレッド	6,600	47.4	5.0	4,740	6	500	5	5,240	6
	シュガーマンゴールド	6,900	53.1	4.7	5,310	3	470	6	5,780	4

註) 土壌概要~PH 6.3 作土の深さ~18 cm 緩傾斜、植壊土、排水良
前作物~芋
播種~5月8日 反当播種量~2.1 kg